

沖縄、日韓民衆の連帯で平和な東アジアをめざす

10・7 民主主義的社会主义運動・Movement for Democratic Socialism MDS 集会

～改憲・戦争の安倍政権を倒そう！～

- 2017年10月7日(日) 18:15 開場 18:30～20:55 資料代 500円
- エルおおさか・南ホール (京阪・地下鉄「天満橋」駅下車土佐堀通り西へ徒歩5分)



<集会プログラム>

- ・あいさつ
- ・基調講演(仮題)
「東アジアの平和構築の力で改憲・戦争の安倍政権を倒そう！」
山川よしやす(MDS書記長)
- ・質疑応答
- ・映像 構成詩
沖縄・韓国と連帯し地域から
平和をつくる(仮題)
- ・まとめと行動提起 ※20:55 終了

●私たちは平和への道を進むのか、戦争、軍拡の道を進められるのかの岐路に立っている！

東アジア情勢はグローバル資本主義の軍拡勢力による妨害策動にもかかわらず、平和への道を進んでいます。9月18日には再度の南北首脳会談が開かれ、米朝首脳会談も検討されています。朝鮮戦争終結宣言への道は依然として継続されているのです。

しかし安倍政権はこの東アジア情勢の大転換を認めず、戦争軍拡路線を維持しています。翁長沖縄県知事が命を賭して辺野古新基地建設阻止の沖縄県民の意思を貫こうとしたことに対し、弾圧や懐柔など、ありとあらゆる手段を駆使して辺野古新基地建設を進めようとしています。安倍は自民党総裁3選、沖縄県知事選で傀儡知事を作り上げ、臨時国会で改憲案を提出しようとしているのです。

●韓国、沖縄の人々と連帯し、安倍政権を倒そう！

MDS集会は、このような情勢の下で、東アジア平和への道を確認たるものにするために開催します。

安倍は議会多数を握り、森友・加計疑惑などの腐敗にもかかわらずまだ辞めずにいます。またメディアは「1強支配」と宣伝し続けています。この安倍の弱点は何か？安倍の弱点は、まさにこの東アジア情勢の転換にあるのです。

日韓民衆の連帯で平和への道を進めれば、安倍の世界的孤立が浮き彫りになっていきます。東アジア平和への道を進めることで辺野古新基地建設、南西諸島への自衛隊配備、イージスアショア配備をやめさせることができるのです。軍事費を削減し、福祉、教育災害対策へという当たり前の要求を闘いの中で実現させていくことが可能となります。

MDS集会で、東アジア平和への展望を確認し、安倍打倒・改憲阻止の意思を固めていきましょう。みなさん、ご参加ください。



★主催:MDS(民主主義的社会主义運動)★ <http://www.mdsweb.jp/> e-mail: info@mdsweb.jp

〒536-0016 大阪市城東区蒲生1丁目6-21LAGセンター内

電話:06-6934-8512 FAX:06-6934-8112
担当(川島)携帯:090-8162-3004